

都市再生整備計画

まつもとえきしゅうへん だい かいへんこう
松本駅周辺地区(第2回変更)

ながの まつもと
長野県 松本市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	長野県	市町村名	まつもと 松本市	地区名	まつもとまきしほうへん 松本駅周辺地区	面積	344	ha							
計画期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度	交付期間	令和	6	年度	～	令和	10	年度

<p>目標</p> <p>大目標：松本城に代表される歴史や文化の営みを実感できるまちづくりを進め、エリアの価値を向上する。</p> <p>目標1：安心して快適に歩くことができる歩行空間の創出による回遊性向上</p> <p>目標2：公民連携による賑わいのある公共空間の活用</p> <p>目標3：市街地における通過交通流入抑制と交通利便性向上</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針)を踏まえ、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>本市では、松本市基本計画(第11次、令和3年9月)を策定して、岳・楽・学の三ガク都に象徴される松本らしさを「シンカ」(進化・深化)させる方針を示した。その実現に向けた基本施策として、「松本城を核としたまちづくり」や「交通需要に即した道路整備」などを推進する方針を掲げた。松本市都市計画マスタープラン(令和4年3月改定)では、目指す都市像として「集約連携型都市構造」の実現を掲げ、松本駅周辺を含む中心市街地を都市中心拠点と位置づけ、そのなかの回遊性を高めるとともに、高次都市機能や複合的な都市機能を誘導する方針を示している。このことは、平成29年3月に策定した松本市立地適正化計画(平成31年3月一部改定)で定めた都市機能誘導区域のうち、松本駅周辺を含む中心市街地(都市中心拠点)が目指す将来都市像とも整合する。</p> <p>令和4年3月には松本城三の丸エリアビジョンを策定し、公民連携により道路・河川などの公共空間を活用して賑わいの創出や魅力の向上に取り組みとともに、令和5年4月には路線バスの運行形態を公設民営へ見直しを行い、「ぐるっとまつもとバス」として運行の効率化や利便性の向上を目指す取組みを推進するなどして、コンパクトまちづくりとネットワークの構築を一体的に進めている。</p> <p>本地区には、市内最大の交通結節点であるJR松本駅や観光の核となる国宝松本城などが立地する一方で、丁字路や鍵の手、一方通行の路地など城下町の町割りを多く残しており、長野自動車道松本IC・国道19号などの幹線道路から流入する車両によって日常的な交通渋滞が生じている。このため、過度な通過交通の流入を抑制し、バス運行の定時制を高めることや歩行者が安心して歩くことができる空間確保などが課題となっている。</p> <p>このような状況において、松本城周辺の特色を生かしたコンパクトな市街地形成と、歩行者通行や路線バスを中心とする交通利便性の向上によるネットワークの形成を実現する。</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>平成17年度から平成21年度にかけて、中心市街地(松本駅周辺)約300haで、都市再生整備計画に基づく道路整備や駐車場整備などのハード事業と、創業者支援などのソフト事業を組み合わせ、中心市街地の賑わい再生と活性化に取り組んだ。</p> <p>その後、平成31年度から令和5年度にかけて、松本駅周辺約344haにおいて、都市再生整備計画に基づいて、中心拠点誘導施設(基幹博物館)整備と一体的に周辺の道路や駐車場等の再整備し、街の魅力をもっと向上するとともに、不要な通過車両の進入抑制や歩行者の安全性・回遊性の向上に取り組んできた。</p> <p>また、令和2年度末に松本市歴史的風致維持向上計画(第1期)が終了したことから、令和3年5月に第2期計画を策定し、認定を受け、継続して、豊かな自然環境と国宝松本城を中心として約400年前に形成された町割や歴史的建造物等が調和した松本市固有の歴史的風致を活用したまちづくりに取り組んでいる。</p> <p>松本市都市計画マスタープランでは、中心市街地におけるまちづくり方針を歩行者優先に配慮した交通環境の改善などにより松本の文化を歩いて楽しめるまちを目指すこととしている。</p> <p>松本城三の丸エリアビジョンの実現を目指すため、令和4年12月に三の丸エリアプラットフォームを設立し、公民が連携したまちづくりの取組みをスタートした。</p> <p>令和7年3月に市の諮問機関である松本市中心市街地再設計検討会議より提言を受け、同年6月より松本駅から松本城までの中核エリア「えきしろ空間」の活性化に向けた取組みをスタートした。</p>
<p>課題</p> <p>・本地区には、市内最大の交通結節点であるJR松本駅や観光の核となる国宝松本城などが立地する一方で、丁字路や鍵の手、一方通行の路地など城下町の町割りを多く残しており、長野自動車道松本IC・国道19号などの幹線道路から流入する車両によって日常的な交通渋滞が生じている。このため、過度な通過交通の流入を抑制し、バス運行の定時制を高めることや歩行者が安心して歩くことができる空間確保などが課題となっている。</p> <p>・持続的なまちづくりを推進するために、公民での役割補完による連携、既存ストックの十分な活用などが求められている。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>①松本市総合計画(基本構想2030(2021-2030)、第11次松基本計画(2021-2025)(平成3年8月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本構想 基本理念:豊かさで幸せに挑み続ける三ガク都 ・基本施策(7分野、47施策)のうち、分野5 都市基盤・危機管理のなかに、「松本城を核としたまちづくり」や「交通需要に即した道路整備」などを掲げて、賑わいの創出や多様化する道路空間に対するニーズに対応することを目指している。 <p>②松本市都市計画マスタープラン(令和3年度から令和22年度までのおおむね20年間)(令和4年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに目指す都市構造として「集約連携型都市構造」を掲げた。 ・松本駅周辺を含む中央部地域は「歴史的遺産や豊かな水と緑を生かした松本広域都市圏の中心拠点」として、多様な高次都市機能を集約し、利便性が高く、文化を楽しめるまちを目指す方針等を定めている。 <p>③松本市立地適正化計画(国勢調査年次2015年を基準とし、概ね20年後の2035年を目標年次とする)(平成29年3月策定(平成31年3月一部改定))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松本駅周辺は、都市機能誘導区域(都市中心拠点・中心市街地)に位置付け、拠点の特性を生かして、都市圏全体の核として拠点性の向上や多くの都市活動を創出する方針を掲げている。 <p>④松本地域公共交通計画(令和3年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の再編や運行形態の見直しなど、公共交通を維持していく方向性を定めている。 <p>⑤松本城三の丸エリアビジョン(令和4年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰かに語りたくなる暮らし」を合言葉として掲げ、暮らす人と訪れる人が居心地良く共生し、愛されるエリアの基本方針を定めている。

都市構造再編集集中支援事業の計画

都市機能配置の考え方

- ・郊外部については、広域的な道路交通や鉄道を軸として、大型商業施設や大規模工場等の集積が進んでいることから、無秩序な拡散を抑制しつつ鉄道駅周辺の交通利便性の高いエリアに適正な都市機能配置を行う。
- ・中心市街地については、本市の成り立ちが松本城を中心とした城下町であった歴史的な背景や、近代においては松本駅を中心とした交通結節機能の発展や商業・サービス業等が集積した経過を踏まえ、松本城～あがたの森～松本駅を包含するエリアにおいて更に都市の魅力を上昇するための都市機能を集約したまちづくりを行う。
- ・とくに、松本城三の丸地区や親町3町枝町10町24小路と呼ばれる古くからのまち並みを残す城下町においては、歴史・文化資源の活用を図り、市街地や周囲を取り囲む自然をと調和した特色のある都市機能の誘導を行う。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
歩行者交通量	人/12時間	大名町通りにおける歩行者数の調査	交通拠点や歴史・観光資源などをつなぐ歩行者軸の回遊性向上により、歩行者数を増加する。	4,905	R5年度	5,700	R10年度
中心市街地での滞留時間	時間	市民アンケートによる中心市街地での滞留時間の調査	公民連携で賑わいを創出することにより、滞留する時間を増加する。	2.64	R5年度	2.8	R10年度
市街地バス路線乗車人数	人/日	中心市街地を循環するバス路線(タウンズニーカー北・東コース)の乗車人数の調査	不要な通過交通流入の低減のため、中心市街地における公共交通ネットワークの利便性を向上し、利用者を増加する。	599	R4年度	700	R10年度
花時計公園利用者のアクティビティの種類	種類	花時計公園利用者を対象としたアクティビティ調査(平時)	駅から松本城への主要動線の回遊性向上、公民連携による公共空間活用を推進し、この動線に接する本公園での過ごし方を多様化する。	6	R7年度	7	R10年度
辰巳の御庭のアクティビティの種類	種類	辰巳の御庭利用者を対象としたアクティビティ調査(平時)	公民連携で賑わいを創出することにより、過ごし方を多様化する。	8	R5年度	9	R10年度

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【安心して快適に歩けることができる歩行空間の創出による回遊性向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が安心して楽しく回遊できる歩行空間の創出するための街路再整備 ・歴史、文化資源を活かし、更にまちの魅力を高めるための整備 ・地上階のセットバック等による公共区間の確保 	<p>【基幹事業】（高質空間形成施設）大名町通り整備事業、辰巳の御庭整備事業（エリア価値向上整備事業）デザインコード策定事業（地域創造支援事業）バス案内設備整備事業</p> <p>【関連事業】 松本城南・西外堀復元事業</p>
<p>【幹線道路整備等による地区内への通過交通流入の低減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要な通過交通流入を低減し、渋滞緩和を図るための街路整備 ・交通ターミナル機能強化による公共交通の利用促進 	<p>【基幹事業】（道路）（都）中条白板線整備事業（白板工区）（エリア価値向上整備事業）松本駅交通ターミナル機能強化構想策定事業</p> <p>【関連事業】 市道2002号線整備事業、（都）博労町栄町線整備事業（都）小池平田線整備事業（深志工区）</p>
<p>【公民連携による賑わいのある公共空間の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市街地の賑わいを創出し、魅力を向上するための社会実験等 	<p>【基幹事業】（エリア価値向上整備事業）松本城三の丸エリア、えきまえエリアビジョン策定事業</p> <p>【協定制度等】 歩行者利便増進道路制度の運用</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大名町通り整備に関わる地元勉強会等の開催 ・三の丸エリアプラットフォームによる社会実験の実施、効果検証など ・地元有志による中心市街地再活性を目的としたイベントの開催 <p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体となって以下のまちづくり推進協議会を設立し、良好な住環境やそれぞれの地区の特性にあった景観・街なみの形成などを推進 <ul style="list-style-type: none"> 中町地区（中町（蔵のある）まちづくり推進協議会、お城下町地区（お城下町まちづくり推進協議会）、お城東地区（お城の東まちづくり推進協議会）、中央東地区（中央東高砂通り周辺地区まちづくり推進協議会）、お城周辺地区（お城周辺地区まちづくり推進協議会） ・お城周辺地区（第2ブロック）では、平成28年4月にまちづくり協定を締結して、平成30年3月に街並みガイドラインを策定 ・三の丸エリアプラットフォームを設立（令和4年12月） ・三の丸エリア内の6つの界隈で、7団体が社会実験等のプロジェクトに着手（令和5年度～） ・大名町通り整備に向けて、地元が主体となった道路活用整備委員会を設立（令和5年5月） ・同委員会が大名町通り整備に向けた提案書を市に提出（令和6年5月） ・三の丸エリアプラットフォームが大名町通り再整備に向けたフルフラット化社会実験を実施（令和6年12月） ●公共空間利活用 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う道路占用特例を活用し、道路空間にテラス席等を設置開始（令和2年8月～）（松本市では「街場のえんがわ作戦」として支援。市道7路線、国道2路線で、7団体・68店舗が実施） ・令和5年4月からは、市道4路線、国道2路線が歩行者利便増進道路制度へ移行 ・令和7年6月に、中心市街地に位置する公園（花時計公園）でのイベント開催を円滑化するため、市がワンストップ窓口を設置 ・花時計公園の利用促進のため、令和7年9月に市が人工芝を設置。10月に地元商工団体が大型テントを設置後、集中的にイベントを開催。 	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,229	交付限度額	1,114.5	国費率	0.5
---------	-------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分			
道路		(都)中条白坂線整備事業(白坂工区)	松本市	直	120m			R6	R9		1,024	1,024			1,024	-
公園																
古都保存・緑地保全等事業																
河川																
下水道																
駐車場有効利用システム																
地域生活基盤施設																
高質空間形成施設		大名町通り(市道1059号線)	松本市	直	300m			R6	R10		1,014	1,014			1,014	-
		辰巳の御庭(市道1095号線)	松本市	直	433㎡			R8	R9		41	41			41	-
高次都市施設	地域交流センター															
	観光交流センター															
	テレワーク拠点施設															
	賑わい・交流創出施設															
	賑わい・交流創出施設(地域資源活用型)															
	子育て世代活動支援センター															
	複合交通センター															
誘導施設	医療施設															
	社会福祉施設															
	教育文化施設															
	子育て支援施設															
	元地の管理の適正化															
広域連携誘導施設																
既存建造物活用事業																
土地区画整理事業																
市街地再開発事業																
住宅街区整備事業																
バリアフリー環境整備事業																
優良建築物等整備事業																
住宅市街地総合整備事業																
街なみ環境整備事業																
住宅地区改良事業等																
都心共同住宅供給事業																
公営住宅等整備																
都市再生住宅等整備																
防災街区整備事業																
復興促進事業																
エリア価値向上整備事業		松本城三の丸エリア		間				R6	R10		52	52			52	-
		えきまえエリア(えきまえエリアビジョン策定事業)	松本市他	直/間				R8	R9		58	58			58	-
		えきまえエリア(デザインコード策定事業)	松本市	直				R8	R8		12	12			12	-
		えきまえエリア(松本駅周辺交通・ビル機能強化構想策定事業)	松本市	直				R8	R8		18	18			18	-
こどもまんなかまちづくり事業																
暑熱対策事業																
合計										0	2,219	2,219	0		2,219	-

事業	細目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
地域創造支援事業	バス案内設備整備事業	大名町通り(市道1059号線)	松本市	直	2基			R8	R8		10	10			10
事業活用調査															
まちづくり活動推進事業															
合計										0	10	10	0		10

松本駅周辺地区(長野県松本市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	大目標: 松本城に代表される歴史や文化の営みを実感できるまちづくりを進め、エリアの価値を向上する。	代表的な指標	歩行者交通量 (人/12時間)	4905	(R5年度)	→	5700	(R10年度)
	目標1: 安心して快適に歩くことができる歩行空間の創出による回遊性向上		中心市街地での滞留時間 (時間)	2.64	(R5年度)	→	2.8	(R10年度)
	目標2: 公民連携による賑わいのある公共空間の活用		市街地バス路線乗車人数 (人/日)	599	(R4年度)	→	700	(R10年度)
	目標3: 市街地における通過交通流入抑制と交通利便性向上		花時計公園利用者のアクティビティの種類 (種類)	6	(R7年度)	→	7	(R10年度)
			辰巳の御庭のアクティビティの種類 (種類)	8	(R5年度)	→	9	(R10年度)

